

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幡多希望の家医療福祉センター（発達障害児）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験がある職員や多職種での訪問が行える事で、専門的な意見交換が出来る	本にの状態よっての訪問回数にしているが、次に行ったときに必ず前回の助言に対しての振り返りを行っている	園での様子を事業所内でも共有し、事業所内でも取り組まれる内容については場面を変えて行っていく
2	利用児童だけでなく、保護者支援と訪問支援を並行して行っている	利用児童の力に合わせた支援プログラムを立案し行っている 訪問できるときは、2名体制で訪問しており、保育園の状況や本人の状態等を先生の意見を聞きながら共に考えている	職員の専門的なスキルを上げていける様、研修への参加を行っていく
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数が少なく、1日のうちに職員全員が集まれる時間が少ない	児童発達の利用は、出来るだけ午前中に組むようにして 放課後等デイの利用は昼から夕方にかけてになる	1回に話し合う利用児を決め、短い時間で協議と討議、決議当を行い質の高い支援が行えるよう努める
2			
3			